2023年2月2版

食物アレルゲン検出PCR *商品コード：F926－1S*

「定性リアルタイムPCR　小麦、そば、落花生、くるみ検出用プラスミドセット」

取扱説明書

【特徴】

本製品は、定性リアルタイムPCR法を用いて食品中の「小麦、そば、落花生、くるみ」のDNAを検出する試薬（関連製品）を使用する際に用いる試薬です。

【内容】

定性リアルタイムPCR 小麦、そば、落花生、くるみ検出用　基準プラスミド	20反応分	(50 µL) ×1本
定性リアルタイムPCR 小麦、そば、落花生、くるみ検出用　高濃度プラスミド	20反応分	(50 µL) ×1本

【保存方法】

－20℃で保存

【使用期限】

外装に記載

【実施例】

本試薬をそれぞれ室温に戻した後、ボルテックスミキサーで撹拌し、遠心機でスピンダウンする。

基準プラスミド、高濃度プラスミドをそれぞれ2ウエル並行で、反応用に調製した溶液が22.5 µL入ったPCR用反応チューブに2.5 µLずつ加える。

※　実施方法につきましては、関連製品の「定性リアルタイム PCR 小麦検出用プライマー&プローブセット」、「定性リアルタイム PCR そば検出用プライマー&プローブセット」、「定性リアルタイム PCR 落花生検出用プライマー&プローブセット」、「定性リアルタイムPCR くるみ検出用プライマー&プローブセット」の各取扱説明書に従い実施して下さい。

【使用上または取扱上の注意】

※　本製品を使用した定性リアルタイムPCRの検査方法はファスマックホームページから入手可能です。
https://fasmac.co.jp/product

※　判定については、本製品の結果だけでなく、原材料や製造記録の確認等、他の情報とあわせて、総合的に判断して下さい。

※　本製品は研究用の試薬です。それ以外の目的には使用しないで下さい。

※　本製品を使用する際は、遠心機でスピンダウンし、蓋に付着した試薬を完全に落として下さい。

※　本製品は、DNA低吸着チューブを使用しております。プラスミド溶液を他のチューブに移しての保管はお避け下さい。また、プラスミドの分解を避けるため、凍結融解の回数はなるべく最小限となるよう注意して下さい。

※　作業環境、使用機器、操作上のコンタミネーションには十分注意して下さい。

※　基準プラスミド溶液、高濃度プラスミド溶液をご使用される際は、DNA試料液およびPCR試薬にコンタミネーションすると偽陽性になりますので、取扱には十分注意して下さい。

※　本製品は、ハウス食品グループ本社株式会社のライセンスを受けて、株式会社ファスマックが製造販売しています。

※　本プラスミドは、ハウス食品グループ本社株式会社の特許です。

【関連製品】

1.　商品コード：F921-1S,2S　定性リアルタイムPCR　小麦検出用プライマー&プローブセット　(50反応分,250反応分)
2.　商品コード：F922-1S,2S　定性リアルタイムPCR　そば検出用プライマー&プローブセット　(50反応分,250反応分)
3.　商品コード：F923-1S,2S　定性リアルタイムPCR　落花生検出用プライマー&プローブセット(50反応分,250反応分)
4.　商品コード：F925-1S,2S　定性リアルタイムPCR　くるみ検出用プライマー&プローブセット(50反応分,250反応分)
5.　商品コード：F905-0K,1K,2K　植物DNA検出用プライマー (25反応分,50反応分,250反応分)

【参考文献】

(1) Miyazaki A, Watanabe S, Ogata K, Nagatomi Y, Kokutani R, Minegishi Y, Tamehiro N, Sakai S, Adachi R, Hirao T. Real-time PCR Detection Methods for Food Allergens (Wheat, Buckwheat, and Peanuts) Using Reference Plasmids. J. Agric. Food Chem., 67, 5680-5686 (2019)

【問い合わせ先】

製造販売元　株式会社ファスマック　遺伝子検査事業部
〒243-0041　神奈川県厚木市緑ヶ丘5-1-3　TEL 046-295-8787 / FAX 046-294-3738　http://fasmac.co.jp